

日・ペルー共同声明

I. 二国間関係

総論

1. 安倍晋三日本国総理大臣は、ペドロ・パブロ・クチンスキー・ペルー共和国大統領の招待で、2016年11月18日からペルー共和国を公式訪問した。両首脳は、18日、リマにおいて首脳会談を行った。

2. ペルーは、日本にとって中南米諸国の中で最も長い外交関係を有する国である。両首脳は、140年を超える歴史をもつ日本とペルーの友好関係を一層進展させることで一致した。

3. 両首脳は、日本とペルーが自由、民主主義、法の支配、基本的人権といった普遍的価値を共有するとともに、アジア太平洋経済協力（APEC）、環太平洋パートナーシップ（TPP）、太平洋同盟等の地域的枠組みにおいても太平洋を挟んだ重要なパートナーであることを改めて確認した。両首脳は、戦略的パートナーとして幅広い分野で緊密に協力していくことで一致した。

4. 安倍総理大臣は、APEC首脳会議のためのクチンスキー大統領の貢献に敬意を表するとともに、同会議の成功を祈念した。

5. ペルーはまた、南米で最初に日本人の組織的移住を受け入れた国である。1899年以降、ペルーの日系社会はペルーの発展に貢献し、また両国の架け橋として重要な役割を果たしている。この機会に、両首脳は、改めて日系社会のこれまでの努力を高く評価した。

政治

6. 安倍総理大臣は、過去10年間で2度目のAPEC議長としてのペルーの役割を認識し、ペルーのAPECへの積極的な貢献を高く評価した。クチンスキー大統領は、ペルー側の力強い意欲に応えるべく、これまでにない頻度で日本政府がハイレベルによるペルー訪問を行っていることを歓迎した。安倍総理大臣は、一連のペルーAPEC大臣会合等でのペルーによる温かい歓迎に深く感謝した。

7. 両首脳は、二国間のアジェンダ及び相互に関心のある国際的・地域的課題について時宜を得た形で意見交換すべく、両首脳間の相互の往来及び連絡並びに多国間の場における会合を通じて、定期的な接触を維持することで一致した。両首脳は、戦略的パートナーとして二国間関係を促進すべく、政策対話などのメカニズムの構築を通じて、外交政策及び多国間の課題に関する対話、協力及びやり取りを深めることで一致した。こうした観点から、両首脳は、リマで開催予定の第一回政治対話の議題について調整するよう、それぞれの外務省に対して指示した。

経済・経済協力

8. 安倍総理大臣は、日本の経済界がクチンスキー大統領の自由開放経済政策に支持と信頼を寄せていることを認識しつつ、これらの政策を歓迎した。

9. クチンスキー大統領は、インフラ・セミナー（2016年2月）、都市交通分野に関するハイレベル協議及びその後の官民調査団の派遣（2016年9月及び10月）など、両国の民間部門の間の経済関係促進のため日本政府が行った措置を歓迎した。安倍総理大臣は、リマ首都圏及び近郊の交通の発展に係る日本側の関心を踏まえ、ペルーのインフラ分野への日本の参画を奨励する意図を表明した。

両首脳は、持続可能な成長のためには、質の高いインフラ投資が重要であるとの点で一致した。また、クチンスキー大統領は、日本がG7議長国として取りまとめた「質の高いインフラ投資の推進のためのG7伊勢志摩原則」を歓迎するとともに、インフラ分野における日本からの投資に期待を表明した。

10. クチンスキー大統領は、社会経済インフラの整備、格差是正、環境対策及び防災対策を中心とした日本からのこれまでの開発協力に対して謝意を表明した。クチンスキー大統領はまた、ペルーの広範な文化遺産の保護に重要な貢献を行っている近年の文化協力に対し、謝意を表明した。

安倍総理大臣は、環境・防災対策等の分野で協力を引き続き推進していくことを表明した。両首脳は、アマゾン地域における森林保全、都市廃棄物管理及び遺棄された鉱山の環境改善に関する現在実施中の調査を歓迎した。安倍総理大臣は、この機会に「アマゾナス州における持続可能な観光開発促進計画」及び「地熱資源評価能力強化計画」の技術協力案件2件を実施する日本の意向を表明した。クチンスキー大統領は、三角協力を通じた地域の他の国々との開発におけるペルーのグッド・プラクティスを日本と共有する意図を表明した。

両首脳は、国際連合総会において採択された、2030アジェンダ及びその持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて協働することの重要性を認識した。

11. 両首脳は、特に非伝統的な農業部門及び中小企業に関し、日本とペルーとの間の経済連携協定（EPA）の枠組み内でビジネス機会を発展させる大きな潜在性を認識した。両首脳は、民間部門が同協定の好ましい効果についてよりよく理解し同協定を活用することを促進するため、非常に緊密に協力し続けるとのコミットメントを改めて表明した。両首脳は、同協定の下、両国の衛生及び植物衛生当局間で互恵的で科学的な協力を行うことの重要性を再確認した。

12. 両首脳は、TPP協定の承認のためのそれぞれの国内手続を完了し、同協定を可能な限り早期に発効させるため、一層努力することにコミットした。両首脳はまた、TPP協定が、両国のみならず、アジア太平洋地域全体の安定及び繁栄のため、商業的及び地政学的に重要な恩恵をもたらすとの見解で一致した。

13. 両首脳は、日本と太平洋同盟との協力を深化させることで一致した。この文脈で、両首脳は、太平洋同盟インフラ・マスタープラン改定版の完成を歓迎し、具体的な案件形成のため協力していくことで一致した。また、両首脳は、太平洋同盟の4つのテーマ別の優先分野である科学・技術・イノベーション、貿易促進、中小企業及び教育における関係強化に期待を表明した。

14. 両首脳は、本年9月12日に両国経済界による日ペルー経済協議会の開催を歓迎した。

15. 両首脳は、両国間の投資及び経済交流を更に推進すべく、二重課税の回避に関する協定の締結に向けた協議の開始を決定するとともに、関係当局に指示した。

16. クチンスキー大統領は、古くはワンサラ、パルカ、近年ではアンタミナ、ゼロ・ベルデといった鉱山に40年以上にわたり日本が投資していることを歓迎するとともに、日本の更なる参加への期待を表明した。両首脳は、日本及びペルーの発展と利益のため、鉱物資源の安定的な供給関係の強化及び鉱業における協力の促進に対する関心を共有した。これに関し、両首脳は、日本の経済産業省とペルーのエネルギー鉱山省との間での協力覚書の署名を歓迎した。

17. 安倍総理大臣は、経済協力開発機構（OECD）に対するペルーの関心を歓迎した。この文脈において、安倍総理大臣は、OECDの委員会、OECD国別プログラム及びOECD中南米プログラムにおけるペルーの建設的な役割に期待を表明するとともに、追ってOECD加盟に向けた議論を開始したいとのペルーの希望につき真正な関心とともに留意した。

18. クチンスキー大統領は、日本・ペルー地震防災センターを含む防災分野での40年を超える日本の協力に対して謝意を表明した。クチンスキー大統領はまた、「世界津波の日 高校生サミット in 黒潮」に参加するサン・ホセ・エルマノス・マリスタス校への日本からの訪日招待を評価した。安倍総理大臣は「世界津波の日」制定に向けたペルーの協力に感謝した。両首脳は、今後とも、防災分野の協力を引き続き推進することで一致した。

19. 両首脳は、2009年にペルーが西語圏で初めて地上デジタル放送日本方式（ISDB-T）を採用して以降、着実に地上デジタル放送の導入が進んでいること、また、2016年1月に日本の無償資金協力「広域防災システム整備計画」により、ISDB-Tを活用した広域防災システムが完成したことを歓迎した。クチンスキー大統領は更なる協力への期待を表明した。

両首脳は、2016年1月及び11月の総務省とペルー運輸通信省との間の情報通信技術（ICT）分野の協力覚書への署名、ICTセミナー（2016年1月）、

光ファイバー（FTTH）セミナー（2016年3月）、通信衛星セミナー（2016年4月）、遠隔医療セミナー（2016年6月）、ICT分野に係るハイレベル協議（2016年8月）など、急速にICT分野の協力が進展していることを歓迎した。両首脳はまた、光ファイバーを始めとするインフラ整備、物流や医療などの分野でのICT協力の一層の進展への期待を表明した。

20. 両首脳は、これまで7,000名を超えるペルー国民が日本の協力で研修し、ペルーの発展と二国間関係の推進に寄与してきたことを評価した。

安倍総理大臣は、将来有望なペルー国民に対し日本での研修及び研究・教育の機会を提供すべく、今後3年間に約200名のペルー国民を訪日招聘する旨表明した。

クチンスキー大統領は、同大統領が重視する教育サービスの促進のため、日本が草の根・人間の安全保障無償資金協力や見返り資金を通じて、過去10年間に60件を超える教育施設の発展に協力したことを評価した。両国国民間の相互理解の深化に向け、安倍総理大臣は、今後とも日本が協力していく考えを表明した。

国民交流

21. 両首脳は、ペルーへの日本人の組織的移住120周年に当たる2019年を日ペルー交流年とし、両国政府が協力して二国間の交流を推進していくことで一致した。

22. 両首脳は、両国政府間の交流を一層促進すべく、外交・公用旅券所持者に対する外交・公用相互査証免除措置を導入することで一致した。

23. クチンスキー大統領は、これまで400人を超えるペルー国民が日本政府の国費外国人留学生制度を通じて日本に留学し、ペルーの発展と二国間関係強化に貢献していることを認識した。安倍総理大臣は、日本へのペルー人留学生増大に向けたペルー側の強い関心を歓迎するとともに、支持を表明した。

24. クチンスキー大統領は一昨年の中南米歴訪を契機にスタートした「Juntos!! 中南米対日理解促進交流プログラム」を通じて、ペルーとの人的交流を拡大する日本の継続的な取組を評価した。安倍総理大臣は明年、交流促進に向けペルーに訪問団を派遣することを表明した。

25. 両首脳は、両国の観光促進に向けた協力強化の重要性を確認した。

26. 両首脳は、福島県大玉村とマチュピチュ、北海道剣淵とパルカマヨ及びタルマ、岐阜県高山とウルバンバとの間の交流が示しているように、近年の友好及び姉妹都市の活発化を歓迎した。こうした観点において、両首脳は、実り多い関係を育む地方政府を支援すべく、政治的対話の枠組みにおける議題として姉妹都市について議論するとの見解を共有した。

27. 両首脳は、日本の官民による50年を超える文化遺産（考古学）分野での協力が両国の交流に重要な貢献を行ってきたことを強調した。

貿易及び通商

28. 両首脳は、二国間の文脈における食料供給の重要性を考慮し、特に農産品につき、生產品の二国間の通商を促進するため、国内手続を加速させるとのコミットメントを表明した。こうした観点から、両首脳は、本件を優先するよう関係当局に指示した。

二国間関係

29. リマが2019年に汎アメリカン・オリンピック競技大会を主催し、東京が2020年にオリンピック・パラリンピック競技大会を主催することに鑑み、両首脳は、スポーツ、インフラ及び組織的事項において協力できる分野を検討することで一致した。こうした観点から、安倍総理大臣は、日本のイニシアティブである「スポーツ・フォー・トゥモロー」について詳述した。

30. クチンスキー大統領は、日本の二国間クレジット（JCM）への関心を表明するとともに、同メカニズムについて分析するようペルーの関連当局に要請した。

31. 両首脳は、外交官研修の分野において、日本の外務省研修所とペルーの外交アカデミーとの間の協力を発展させるとの共通の意図を共有した。

II. 国際場裡での協力

32. 両首脳は、北朝鮮による核実験及び弾道ミサイル発射を最も強い表現で非難するとともに、北朝鮮に対し、これ以上いかなる挑発行動も自制し、全ての関連する国際連合安全保障理事会決議及びその他の国際的なコミットメントを遵守するよう強く求めた。両首脳は、全ての関連する国連安保理決議の持続的かつ包括的な履行の重要性を再確認するとともに、安保理による強化された制裁措置を含む新たな決議の採択に向けて協力する決意を表明した。両首脳はまた、北朝鮮に対し、拉致問題を直ちに解決するよう求めた。

33. 両首脳は、国際法に従って海における平和、安定、安全並びに航行及び上空飛行の自由を維持することの重要性を再確認した。両首脳は、海洋法に関する国際連合条約に反映されたものを含む普遍的に認識された国際法の諸原則に従った、海洋に関する紛争の平和的な解決に向けたルールに基づくアプローチの重要性を強調した。

34. 安倍総理大臣は、「平和安全法制」を含め、世界の平和、安定及び繁栄への

日本の貢献を強化することを目指す日本の国際協調主義に基づく「積極的平和主義」につき詳述した。クチンスキー大統領は、日本が国際社会の平和と安定に更に貢献することを可能とする日本の新たな安全保障政策を確認するとともに、日本の取組への支持を表明した。

35. 両首脳は、核兵器のない世界の実現に向けた思いを共有するとともに、2020年NPT（核兵器の不拡散に関する条約）運用検討会議の成功に向けて核軍縮、不拡散、原子力の平和的利用といった分野における協力を強化していくことで一致した。

両首脳は、国際的な核不拡散体制の強化や原子力の平和的利用の促進において国際原子力機関（IAEA）が果たす役割の重要性を再確認するとともに、IAEAが引き続き天野之弥事務局長のリーダーシップの下、必要な役割を果たせるよう協力していくことで一致した。

36. 両首脳は、全ての国が参加する、公平かつ実効的な枠組みであるパリ協定の発効を歓迎するとともに、同協定の速やかな、かつ、成功裏の実施の重要性を認識した。また、両首脳は、同協定の、効果的な、かつ、透明性のある実施のためのルールブック詳細な指針について決定するために協力することで一致した。

37. クチンスキー大統領は、改革された国連安保理における日本の常任理事国入りへのペルーの支持を改めて表明した。安倍総理大臣はペルーの一貫した支持に深く感謝した。両首脳は、21世紀における国際社会の現実をよりよく反映し、正当性、実効性及び代表性を高めるための国連安保理改革の重要性を再認識するとともに、早期の改革実現のために協力を継続していく決意を表明した。

2016年11月18日、リマ